

# 宮城大学 後援会報

## Vol.38

発行  
平成24年7月31日

発行者  
〒981-3298  
宮城県大和町学苑1-1  
宮城大学後援会  
TEL022(377)8381  
編集  
宮城大学後援会事務局

### 「大学は美味しい」フェアに食産初出店

宮城大食産学部は、今年5月30日から7日間、新宿高島屋で開催された「大学は美味しい」フェアに初出店しました。この催しは、全国で食に取り組む大学が集い、研究から生まれた食品などを紹介するイベントです。5回目となる今回は34大学が参加しました。本学からは食産学部大久長範教授が監修した「みたらしプリン」と「黄ニラ揚げかま」が出品されました。

### 本学の食品 売上ベスト3に

食産学部教授 大久長範

地域連携センター分室で新宿高島屋の担当者とお会いしました。大学の研究や地域との連携から生まれた食品を一堂に集めた「大学は美味しい」フェアが今年も開催されることを知りました。そこで急ぎよ秋田の四季菜さんと石巻の橋本蒲鉾店にお声掛けいたしました。

(1)みたらしプリン「醤油」と「みそだまり」を活かした和風味のプリンは、秋田の(株)四季菜と小職が共同開発したものです。プリンに醤油を掛けるとウニのような濃厚な味になるという原理を応用しました。

(2)「黄ニラ揚げかま」黄ニラと高級すり身を組合せたものです。仙台黄ニラ研究会から黄ニラを調達し橋本蒲鉾店(石巻から塩釜に移転が製造販売しました。黄ニラが光にあたりると普通の緑のニラに変化します。ニラの緑化を防止する開発技術が利用されています。

この2アイテムを中心に10時から20時まで足が棒になるまで販売し続けました。参加34校の中で宮城大学に特徴的だったのは、見て食べて購入するまでの時間がとても短かったことです。来場者は会場を一巡し最後に宮城大のアイテムをご購入される、というケースが多く見られました。購買層は、一般来場者から催事担当者や高島屋の店員さんまで広がっていることが分かりました。

黄ニラ蒲鉾は大学フェアの為に開発したものです。フェアを契機に、仙台空港や宮城大学生協でもお取引していただけることになりました。黄ニラの生産から販売までともかく「細い道」ができました。この「細い道」を太く確かなものにしたいです。



宮城大は屈指の人気店=新宿高島屋催会場

### 宮城大国際交流の取り組み

### 米国アーカンソー大と協定締結 教員、学生らの交流図る

宮城大学は平成24年5月14日に米国アーカンソー大学フォートスミス校(UAFS)と学術交流及び教育協力に関する協定を締結しました。

調印式にはポール・B・ベラン学長夫妻などが来学され、本学との教員・学生交流を始め、両校の強みを生かしたさまざまな取り組みを進めていくことを西垣克学長と確認しました。

交流のきっかけはUAFSが平成23年3月に起きた東日本大震災を受け、「フォートスミスのコミュニティからも協力を得て」被災地の学生に留学の機会を」とフルスカラシッププログラムを設け、それに本学学生が応募し、選ばれたことでした。

東日本各地から応募があった中選抜されたのは、阿部美沙都さん(当時事業構想学部事業計画学科3年)と三浦愛菜さん(同)です。2人は約1年間の留学中、素晴らしい学業成績を修めるとともに、東日本大震災および復興に関して現地の方の理解を深めるコミュニケーション活動や日米交流活動に積極的に取り組みました。それが評価され、両校の交流が継続されることになりました。

平成24年度からは毎年1~2人がUAFS学部へ派遣されるUAFS Bridge Scholar Programが新設され、内ヶ崎ゆうさん(事業構想学部事業計画学科4年)と木皿菜々さん(同デザイン情報学科3年)が8月に出発します。

平成25年5月には本学も春学期と夏学期の間にMaymesterと呼ばれる2週間の特別プログラムを設け、UAFS学生8~10人を受け入れる予定です。

今後は平成25年5月にUAFS教員による特別講義、同年秋に本学教員がUAFSにて2週間の特別講義を担当しながら研究活動に従事する教員交流や、オンラインでのバーチャル作品交流展など新しい試みが予定されています。

(国際交流・留学生センター長 教授 ティモシー・J・フェラン)



調印式でのポール・B・ベラン学長(左)と西垣克学長

### 記事一覧

2面 ● 会長・学長あいさつ、事業計画・報告、予算・決算  
3面 ● 「宮城大学と保護者の集い」、H24入学者選抜試験出願状況  
4面 ● H23年度卒業生進路状況

5面 ● コラム、H24年度入学式、「医療機関研究セミナー」  
6面 ● 「絆」、大学祭  
7面 ● 学生会、H24年閏行事予定、主催事業「講演会」

8面 ● 「教員からの一言」、保健室便り、地域連携センター案内

平成24年度の最初の会報が刊行されることになり、学長として一言ご挨拶申し上げます。本年無事にご子女が本学へ入学され、将来を大いに期待されておられることと推察しております。宮城大学も日夜教職員一丸となり、この皆さまの想いに添うよう努力を続けております。

文部科学省が6月初旬に公表しました大学改革実行プランは、その後大きな社会的な反響を呼び、今日の大学のあり様に様々な議論がなされています。我が国の高校生の学力低下は目を覆うばかりで、さらに大学においてもまともな勉学がなされていないと、おおかたの批判は大学に対して極めて分の悪いものと言える状況です。特に指摘されていることは、自立心の欠如と思考力のなさと言われております。

## 人生の先輩として 成長を見守る支援者に

学長 西垣 克



このような課題は、高校教育や大学教育を超えて生まれてからの家庭教育も含めた所にその原因があるように思われます。人間が成長していく過程を、全体的に再点検する必要があるのか、かつ将来に亘っての深刻な社会問題と考えられます。以前にも「親の子離れ、子の親離れ」が話題になり、大学が幼稚園化し送り迎えに親が顔を出す報道されたことも記憶に残っています。

人間は二度の乳離れが必要です。生理的な赤ちゃんの時の乳離れと、青春の時の精神的な乳離れが考えられます。就職の時には一人の人間としての人間力が求められております。保護者という目線ではなく、一人の人生の先輩として成長を見守る支援者になっていただきたいと考えています。

## 総会を経て平成24年度スタート 会長に沖野氏再選

### 後援会設立15周年を迎えて

後援会長 沖野佳秀



会員の皆さまにおかれましては、平素より宮城大学後援会にご支援、ご理解を賜り心より御礼申し上げます。昨年は東日本大震災で本学学生1人が尊い命を失い、多くの学生が被災しました。また本会活動も1ヵ月遅れとなり、その建て直しに役員一同が結束し、活動して参りました。

特筆すべきは、被災した学生230人に見舞金を支給し、また大学が主催した震災復興支援コンサート開催費用の一部を助成できた事です。また乙武洋匡氏を迎えた主催事業では、過去最高の来場者となり、会員の皆さま並びに近隣住民の皆さまに好評を博しました。

就職対策支援では、首都圏で開催される企業説明会へ昨年度は食産業学部、事業構想学部の2学部が参加し、貸切バス費用を助成致しました。

平成24年度は後援会設立15周年の節目を迎えます。その記念誌発行のため専門委員会を立ち上げました。先達のご苦勞、偉業を称え、後世に残すべく活動して参ります。また主催事業として「宮城大学と保護者の集い」や10月開催予定の「講演会」を更に進化させ開催致します。

さらに、学生との対話の機会を設け、可能な限り要望に応え、学生の支援を充実させて参りたいと考えております。そして日本でも有数の就職率を誇る本学の就職支援活動を継続することをお約束致します。

復興道半ばの宮城大と宮城県ですが、後援会としてもその一助となるべく尽力して参ります。会員の皆さまには更なるご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 平成24年度 後援会役員

1年間どうぞよろしく  
お願いします。

役職名 氏名(敬称略)

会長 沖野 佳秀

副会長 菊地 正

〃 中村 美奈

〃 和田 達雄

理事 今井 美紀子

〃 大柳 佳子

〃 加藤 幹夫

〃 熊澤 孝雄

〃 後藤 栄志

〃 古山 由美子

〃 笹川 桃子

〃 佐藤 和利

〃 下山 晴朗

〃 高野 匡

〃 千葉 清純

〃 永山 順姫

〃 松澤 晶子

〃 渡辺 久徳

監事 阿部 孝一

〃 鈴木 千恵子

〃 中野 三郎

### 24年度事業計画

	内容
総会	4月4日
理事会	年6回
各種助成	学生会執行部、新入生歓迎会、出版、サークル(46団体)、大学祭、ガーデンキャンパス
支援事業	資格取得奨励金支給 体育・文化活動に対する奨励金支給 進路対策事業支援 留学生住宅総合補償金一部助成
入学記念事業	新入生へ記念品(校章バッジ)配布
卒業記念事業	卒業生(学部生)への記念品 大学への記念品 卒業記念パーティ助成
主催事業	講演会 保護者の集い 合同企業研究会
会報発行	第38・39・40号

### 24年度一般会計予算

項目	予算額	備考
取 入		
会費	17,640,000	新入生・編入生・終身会員
雑収入	0	
寄付金	0	
繰越金	2,676,946	
他会計繰入金	0	特別会計卒業記念事業積立金より
計	20,316,946	
支 出		
事務費	2,250,000	
会議費	400,000	理事会・特別委員会経費
事業費	14,965,000	サークル助成等
入学記念事業費	396,000	入学記念品(校章バッジ)
卒業記念積立金	2,200,000	卒業生記念品
記念事業等積立金	0	
震災対策費	0	東日本大震災被災学生支援費
予備費	105,946	
計	20,316,946	

### 24年度特別会計予算

(卒業記念事業積立金)		
項目	予算額	備考
取 入		
積立金	2,200,000	入学生440人×5,000円
繰越金	7,577,644	
計	9,777,644	
支 出		
事業費	2,352,960	大学、学生への記念品
卒業記念事業積立金	7,424,684	
一般会計繰出金	0	
予備費	0	
計	9,777,644	
(記念事業等積立金)		
項目	予算額	備考
取 入		
積立金	0	
繰越金	6,871,861	
計	6,871,861	
支 出		
事業費	3,000,000	15周年記念誌「息吹」II発行
記念事業等積立金	3,871,861	
予備費	0	
計	6,871,861	

### 23年度事業報告

	内容
総会	5月2日
理事会	年6回
特別委員会	会長副会長会議 2回 学生代表との意見交換会2回(キャンパス毎)
各種助成	学生会(執行部、新入生歓迎会、出版、サークル(46団体)、大学祭) ガーデンキャンパス、 資格取得奨励金支給 合同企業説明会東京開催参加費用助成 看護国家試験対策費助成 留学生住宅総合補償金一部助成 震災見舞金支給 震災復興支援事業「第九」コンサート助成
入学記念事業	新入生へ記念品(校章バッジ)配布
卒業記念事業	卒業生(学部生)への記念品(パーカー万年筆) 大学への記念品(大和：池清掃用ボート他、太白：校章入りTシャツ) 一年遅れ(H22年度)の卒業記念パーティ助成
主催事業	乙武洋匡氏講演会 「宮城大学と保護者の集い」 合同企業研究会開催
会報発行	第35・36・37号

### 平成23年度一般会計決算

項目	決算額	備考
取 入		
会費	17,660,000	新入生・編入生・終身会員
雑収入	0	参加費無し
寄付金	0	
大学諸経費	0	H23より法人で支出
繰越金	4,479,277	
他会計繰入金	1,000,000	特別会計 卒業記念事業積立金より
計	23,139,277	
支 出		
事務費	2,237,137	人件費、通信費等
会議費	432,797	理事会費用弁償費等
事業費	13,474,227	大学祭、サークル助成等
大学保護者懇談会	0	
入学記念事業費	371,700	入学記念品
卒業記念積立金	2,210,000	卒業生記念品
大学諸経費	0	保健、予防接種、オリエンテーション他
記念事業等積立金	200,000	
震災対策費	1,536,470	見舞金 他
予備費	0	
計	20,462,331	

### 23年度特別会計決算

(卒業記念事業積立金)		
項目	決算額	備考
取 入		
積立金	2,210,000	入学生442人×5,000円
繰越金	8,601,924	
計	10,811,924	
支 出		
事業費	2,234,280	大学への記念品、学生への記念品
卒業記念事業積立金	7,577,644	
一般会計繰出し金	1,000,000	
計	10,811,924	
(記念事業等積立金)		
項目	決算額	備考
取 入		
積立金	200,000	一般会計より積み立て
雑収入	0	
繰越金	6,871,861	
計	7,071,861	
支 出		
事業費	200,000	震災復興支援事業「第九」コンサート開催費用助成
記念事業等積立金	6,871,861	
計	7,071,861	

# 「宮城大学と保護者の集い」 大学への理解と親睦を深めました

今年も、大学との共催事業「宮城大学と保護者の集い」が両キャンパスを会場に開催されました。この事業は、会員に御子女が通う大学の様子をご覧いただき、後援会や大学にご意見をいただく場として、また、教員と親睦を深めていただく貴重な機会として、一昨年から開催しています。



食産業学部=6月9日、太白キャンパス多目的ホール

木村教授による模擬講義「放射能に関すること」や、教員の案内で主要施設の「キャンパスツアー」が行われました。また、カフェテリアでの交流会では、毎年ご好評をいただいている大学が開発した加工食品の試食をしながら、教員と保護者が親睦を深めました。



黄ニラ揚げかま(左)と豚シャブ、みたらしプリン(右)の試食、食産ならではの懇談会=太白カフェテリア



事業構想学部=6月16日、大和キャンパス4階講義室

6月16日(土)に大和キャンパスで行われた看護学部及び事業構想学部の集いでは、学部ごとに意見交換が行われました。両学部とも、学部の教育方法やカリキュラム、就職・国家試験対策等の説明がなされ、看護学部では、家庭の役割についてなどの意見交換が、事業構想学部では、平岡教授による公開講義「南三陸町における震災復興支援活動について」などが行われました。また、会員からの強い要望により、今年も両学部ともキャン



看護、事業構想学部合同の懇談会=大和カフェテリア



看護学部=6月16日、大和キャンパス3階講義室

パスレンジャー(学生団体)の学生による「キャンパスツアー」を実施しました。最後にカフェテリアで行われたティーパーティーでは、両学部の教員と保護者が一緒になって歓談しました。おかげさまで、3学部合わせて、211人の保護者の方に参加をいただき、盛況のうちに終了いたしました。来年もより多くの会員の皆さまが参加されますようお願いいたします。

(後援会会計書記 鈴木大輔)

## 平成 24 年度 宮城大学入学者選抜試験実施状況

学部・学科・(種別)	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細			
				性別		出身地	
				男	女	県内	県外
看護 看護学科	100	2.6	101	2	99	64	37
事業 事業計画学科	100	2.3	107	39	68	87	20
デザイン情報学科	100	2.3	107	41	66	71	36
食産 ファームビジネス	44	2.4	46	22	24	23	23
フードビジネス	54	3.2	59	15	44	29	30
環境システム	32	3.9	37	20	17	24	13
合計	430	2.6	457	139	318	298	159

※出身地は、卒業高校等所在地で分類(大検は県外に分類)

## 平成 24 年度 宮城大学大学院入学者選抜試験実施状況

学部・学科	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細			
				性別		出身地	
				男性	女性	県内	県外
看護学研究科博士前期	10	1.2	10(3)	1	9	7	3
看護学研究科博士後期	3	1.0	5(4)	0	5	3	2
事業構想学研究科博士前期	20	1.0	20(13)	13	7	17	3
事業構想学研究科博士後期	3	1.2	5(2)	5	0	2	3
食産業学研究科修士	13	1.0	14(10)	8	6	12	2
合計	49	1.1	54(32)	27	27	41	13

※( )内の数字は宮城大学からの進学者

平成23年度卒業生  
求人数減少の中  
全国平均を大幅に上回る就職率

平成23年度は、東日本大震災の影響により、学生にとっては前年にも増して厳しい就職環境となりました。よって、9月までは過去5年間の推移で最も遅い進捗状況でしたが、学生、教職員が一丸となって取り組んだ結果、10月以降に大きく盛り返し、最終的には、大卒の全国平均就職率93・6%を大幅に上回る、99・2%の数値となりました。

その数値をけん引したのが看護学部、食産業界であり、就職率100%を達成しました。特に、看護学部の就職率100%は平成20年度から4年連続となります。また、事業構想学部も僅かのところで100%には達しなかったものの、県内からの求人数が震災の影響で減少する中、県内への就職が約半数を占めるなど、地元で就職し、震災復興に尽力したいと考える学生の動きも顕著でありました。

本学では、全学を挙げて教育改革を進めていくことにより、基礎学力等の向上、社会に通用する人材の育成に取り組み、企業から宮城大学の学生が欲しいと声がかかるよう「就活ゼロ、就職100%」を目標に、これからも努力していきたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

（学務課 佐藤憲治）

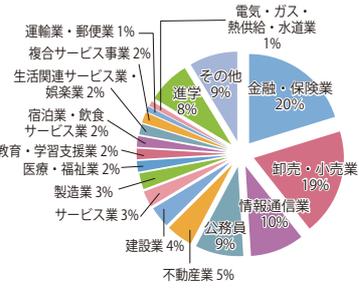
平成23年度卒業生の進路状況

学部	学科	コース	就職			大学院等進学			その他			平成23年度卒業生		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
看護学部	看護学科		4	88	92	0	3	0	0	1	1	4	92	96
	事業計画学科		32	54	86	4	4	8	6	4	10	42	62	104
事業構想学部	デザイン情報学科	情報システム	11	4	15	3	0	3	1	0	1	15	4	19
		空間デザイン	14	20	34	5	4	9	1	1	2	20	25	45
		デザイン情報	9	23	32	0	0	0	0	1	1	9	24	33
	学部小計		34	47	81	8	4	12	2	2	4	44	53	97
			66	101	167	12	8	20	8	6	14	86	115	201
食産業界学部	学部小計	ファームビジネス	15	20	35	0	4	4	6	1	7	21	25	46
		フードビジネス	15	36	51	4	4	8	0	2	2	19	42	61
		環境システム	11	15	26	1	3	4	0	1	1	12	19	31
		学部小計	41	71	112	5	11	16	6	4	10	52	86	138
全体計			111	260	371	17	22	36	14	11	25	142	293	435

※食産業界学部23年9月卒2名含む

事業計画学科

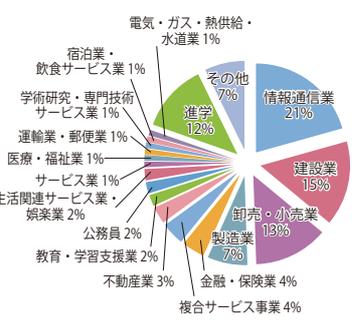
- 主な就職先  
 (株)七十七銀行 野村證券(株)  
 宮城県商工会連合会  
 (株)ゆうちょ銀行  
 仙台市 大東建託(株)  
 東日本旅客鉄道(株)  
 (株)東京三菱UFJ銀行  
 (株)仙台放送 (株)三井住友銀行  
 三井住友海上火災保険(株)  
 丸紅(株) SMBC日興証券(株)  
 あいおいニッセイ同和損害保険(株)  
 (株)ユアテック 大和証券(株) 宮城県  
 東北労働金庫 (株)ローソン  
 (株)セブンイレブン・ジャパン
- 主な進学先  
 宮城大学大学院 慶應義塾大学大学院



事業構想学部

デザイン情報学科

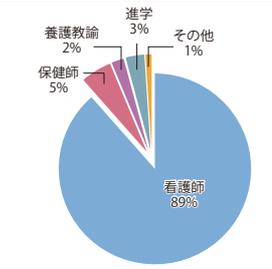
- 主な就職先  
 ◆情報システムコース  
 日本電気(株)  
 東北インフォメーション・システムズ(株)  
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)  
 (株)日立東日本ソリューションズ  
 東京システムリサーチ(株)  
 テクノ・マインド(株)  
 ◆デザイン情報コース  
 東日本旅客鉄道(株)  
 トヨタ自動車東北(株)  
 (株)みちのく銀行  
 (株)東京インテリア家具  
 ホシザキ東北(株) ヤマハ(株)  
 ◆空間デザインコース  
 積水ハウス(株) (株)一条工務店宮城  
 (株)仙台銀行 東北ミサワホーム(株)  
 東日本ハウス(株) (株)ナムコ
- 主な進学先  
 宮城大学大学院 神奈川大学大学院  
 千葉大学大学院 大阪市立大学大学院  
 東北大学大学院 法政大学大学院



看護学部

看護学科

- 主な就職先  
 東北大学病院 東北厚生年金病院 坂総合病院 NTT東日本東北病院  
 東北公済病院 昭和大学病院 横須賀共済病院 虎の門病院 宮城県立病院機構  
 宮城県立こども病院 公立黒川病院 仙台赤十字病院 東北会病院  
 国立病院機構災害医療センター 山形大学医学部附属病院 湘南鎌倉総合病院  
 東京医科歯科大学医学部附属病院 みやぎ県南中核病院 仙台オープン病院  
 仙台社会保険病院 大崎市民病院 埼玉協同病院 国立成育医療研究センター
- 主な進学先  
 仙台医療センター附属仙台看護助産学校 首都大学東京助産学専攻科

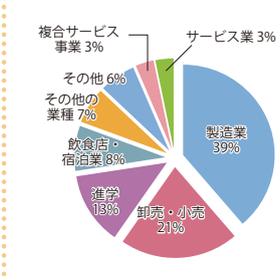


- 新潟市民病院 神奈川県立こども医療センター 聖隷浜松病院  
 東京都立広尾病院 東邦大学医療センター大橋病院  
 (財)仙台市健康福祉事業団【保健師】 塩釜市【保健師】  
 医療法人仁泉会(みやぎ健診プラザ)【保健師】 東松島市【保健師】  
 美里町【保健師】 聖ウルスラ学院英智高等学校【養護教諭】

- 主な就職先  
 (株)サカタのタネ ホクト(株) ノバルティスファーマ(株)  
 (株)宮田 (株)仙台銀行 みやぎ仙南農業協同組合  
 農事組合法人水鳥 大和証券(株) 森永乳業(株) 大館市  
 (株)渡辺採種場 (株)ハミングバード・インターナショナル  
 あさひな農業協同組合 みやぎ登米農業協同組合  
 (株)林牧場
- 主な進学先  
 東北大学大学院 宮城大学大学院

ファームビジネス学科

- 主な就職先  
 (株)日本アクセス 明治ケンコーハム(株) (株)久世  
 赤城乳業(株) ミニストップ(株) (株)極洋  
 (株)ゼンファクトリー (株)福島銀行  
 (株)プロントコーポレーション (株)藤崎 (株)シベール  
 全日本食品(株) 味の素ペーカリー(株) カメイ(株)  
 加藤産業(株)
- 主な進学先  
 進学先一覧 宮城大学大学院 東北大学大学院  
 北海道大学大学院

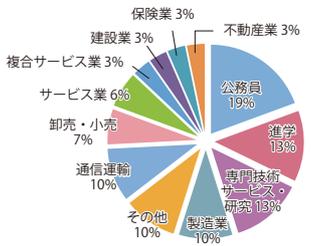


フードビジネス学科

食産業界学部

環境システム学科

- 主な就職先  
 (株)ジェイアール東日本都市開発 東日本旅客鉄道(株) 森永乳業(株)福島工場  
 ショーボンド建設(株) ネクセリア東日本(株) (株)小田急ランドフローラ  
 東北農政局 海上保安庁 あさひな農業協同組合 福島市 埼玉県  
 日の丸成樹脂工業(株) 迫川上流土地改良区 (株)鐘崎 宮城県
- 主な進学先  
 宮城大学大学院



# ランドスケープデザインは「鎮守の森」からはじまった

食産業学部教授 森山雅幸

まだ物心つかない頃、良く連れて行かれた場所があった。そこは、眠りに誘う子守唄を聞かせてくれた、福岡市にある日本三大八幡宮・箱崎神宮の「鎮守の森」だった。学生時代に祖母から聞かされた話では、「木の下に行くと泣き止み、眠りについた」ようである。幼少のときに移り住んだ東京の家には、猫の額ほどの庭があり、ユズやサンショウなど実のなる木が植えられていた。東京オリンピック直後の高度経済成長期、ふと気が付くと家の周囲からは泥だらけになって遊んでいた空き地が消え、アスファルト・ジャングルになっていた。「このまま東京で暮らし続けたら、2度と土で手を汚すことがなくなる」。そう考えた時、もう一度「土に触れたい」という思いが、私を宮崎の南九州大学造園学科に進ませた。



畑には土に触れる楽しみがあった。

その後、鹿児島大学M2在学中にカウアイ島の植物園研修プログラムに参加した。この1年間のハワイ滞在がきっかけとなり、「米国のラ

ンドスケープデザインを身につけたい」という思いから、長い再渡米の生活が始まったのである。渡米して数年後、運良くオレゴン大学へ入学したものの、悪戦苦闘の日々が続いた。そこで得たものは、「ランドスケープデザインの仕事がしたい」という自意識であり、自己発見という宝物だった。



ナパバレーのブドウ畑とワイナリー中庭

卒業後、サンフランシスコ近郊の設計事務所で働くチャンスに恵まれた。この事務所が設計したナパ・ワイナリーのお陰で、美味しいリザーブ・ワインを楽しみ、ガーデンデザインから1万haのニュータウン計画まで、様々なデザインプロジェクトを経験する事ができた。

帰国後、東北の地で設計事務所をスタートし、いつの日かランドスケープデザイン教育に携わりたいと考えていた。大学の仕事は、あの「鎮守の森」で芽生えた三つ子の魂から始まっていたようである。

(もりやま まさゆき)

1949年福岡県福岡市生まれ

鹿児島大学大学院卒業後渡米。1980年オレゴン大学大学院卒業後米国の設計事務所勤務。1989年帰国し仙台で森山アソシエイツ設計事務所設立。国営みちのく杜の湖畔公園など数多くのプロジェクトを手がける。現在、東北の文化的景観、三陸沿岸部の公園緑地・オープンスペースに関する敷地分析・調査、スキー場の夏期利用のための敷地計画等の研究を行っている。平成17年4月より現職。



## 平成24年度入学式

# 厳しい受験環境乗り越え 511人晴れて宮城大生に



2年ぶり穏やかな式典＝大和キャンパス講堂

第16回宮城大学入学式が、4月4日、大和キャンパス講堂で行われました。この日入学を迎えたのは看護学部101人、事業構想学部214人、食産業学部142人の学部生457人と大学院生54人を合わせた511人です。

西垣克学長は式辞で「本学は、皆さん方に入学してよかったと評価される魅力ある大学をめざし、全学で改革に取り組んでいます。皆さん方も今日からその仲間として、積極的に大学の運営に参加していただきたい」と述べ、新入生を歓迎しました。

また、村井嘉浩宮城県知事はあいさつで「皆さんには、宮城大学での研鑽を経て、近い将来、震災復興に貢献し、宮城県の再生、ひいては我が国の発展を引率する活躍をされるよう、大いに期待しています」とエールを贈りました。

学生を代表して、事業構想学部事業計画学科の田中瑠菜さんは「東日本大震災から一年、この場に自分たちがいることのあるがたさを忘れずに、建学の理念である『ホスピタリティ精神とアメニティ感覚』を磨き、新しい冒険に挑戦していきたい」と力強く宣誓しました。

式には他に多くの保護者、教職員などが参加し、震災から一年、厳しい環境での受験勉強を乗り越え、晴れて宮城大生となった新入生を祝福しました。

## 3・4年生対象に「医療機関研究セミナー」

### 47医療機関から 職場情報直接聴く

今年で7回目となる看護学部「医療機関研究セミナー」が、6月20日(水)、大和キャンパス体育館で開催されました。前日からの台風4号により開催が心配されましたが、予定していた県内外の47医療機関の全てにお集まりいただき、また学生も3・4年生155人が参加し、無事開催することができました。

このセミナーは、学生が様々な医療機関の担当者から、それぞれの特徴や就職後の人材育成に関する情報を収集し、今後の就職活動における医療機関の選択や、将来のキャリアプラン等に活かすことを目的としています。

また、このセミナーの最大の特徴は、本学OB・OGから、現場での活動の様子を直接聞くことができることです。今回も42人の本学OB・OGが参加

し、学生へ熱いエールを送っていただきました。このセミナーを皮切りに、4年生は本格的な就職活動に入ります。また、3年生も今後の進路を真剣に考える時期となります。本学では、今後も学生にとって価値があり、学生自身が自らのキャリアを考える機会を設けていきたいと考えておりますので、後援会員の皆さま、本学OB・OGの皆さまには、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

(学務課 佐藤憲治)



スタッフにOB・OGの姿も、医療機関人事担当者の話を熱心に聴く学生。

## ▶ 大和キャンパス今年のテーマは「pieces(ピース)」

はじめまして。大和キャンパス大学祭実行委員長の佐藤慧介です。

今年の大学祭のテーマは「pieces (ピース)」です。大学祭を「puzzle」、大学祭に参加する学生や地域の方を「piece」とみだてました。そして、一つ一つ異なった形をしている「piece」が集まり「puzzle」を形成していくように、様々な人々と共に、大学祭を形作ってほしいと願いを込めました。

多くの方と交流したいと考えています。その一環として、他大学との交流を去年以上に深めていきたいと考えています。

実行委員は2年生33人、1年生67人の総勢100人です。

現在は、大学祭に出店や展示をしてもらう団体の募集や活動資金

のための企業訪問など営業活動を中心に行っています。また、太白キャンパスや他大学との交流を深めるための企画を検討しています。

大学祭開催を目指し全力で取り組んでいます。お楽しみに！

(大和キャンパス大学祭実行委員長 デザイン情報学科2年 佐藤慧介)



100人で活動しています=大和キャンパス実行委員

## ▶ 食産から愛をこめて! 太白は美味しいよ

皆さま初めまして。大学祭実行委員長の小野寺啓介と申します。

毎年開催されております食産学部大学祭ですが、今年もセンスあふれるテーマの決定から活動がスタートしました。今年のテーマは「イート愛ランド現象～食べ物たくさん、ここ食産」です。食のある場にはいつでも愛が溢れてほしい、食から愛を感じてほしいという願いからこのテーマとなりました。

また、イベントではリアル脱出ゲームやスタンプラリーなどを企画しておりますので、幅広い年齢層の方に楽しんでいただけたらと思います。現在大学祭実行委員会では企業からの広告取りをはじめとし、ステージイベントなど様々な企画に取り組んでいます。また、新しいことにチャレンジしようというスローガンを掲げて活動しています。このスローガンのもと、やってみたい、面

白そうと思った事にはどんどん挑戦していきます。

大学祭をより良いものとするために、これからも一生懸命活動に励んでいきます。

たくさんの皆さまのご来場をお待ちしております。

(太白キャンパス大学祭実行委員長 フードビジネス学科2年 小野寺啓介)



新しいことにチャレンジします! =太白キャンパス実行委員

白が学生だった頃の大学のイメージは、学生と教授によって成り立っていて、事務職員は最後にかろうじて思いつく、とても影の薄い存在でした。しかし、実際に自分がその立場になり働いてみると、学生の頃のイメージとは違い、大学としての活動には必ずと言っていいほど事務職員が関わっていることがわかりました。



「動物が大好きです」休日に出かけた牧場で。

一見暇そうに見える大学の事務職員ですが、実は想像していた以上に忙しいです。卒業後も就職先が決まらず、途方に暮れていた去年の6月、キャリア開発センターの馬場さんに宮城大学事務職員の採用試験があることを聞き、受験を決意しました。運よく試験に合格し、去年の9月から臨時職員として7カ月、今年の4月から正職員として3カ月働いてきました。

私が学生だった頃の大学のイメージは、学生と教授によって成り立っていて、事務職員は最後にかろうじて思いつく、とても影の薄い存在でした。しかし、実際に自分がその立場になり働いてみると、学生の頃のイメージとは違い、大学としての活動には必ずと言っていいほど事務職員が関わっていることがわかりました。

卒業後も就職先が決まらず、途方に暮れていた去年の6月、キャリア開発センターの馬場さんに宮城大学事務職員の採用試験があることを聞き、受験を決意しました。運よく試験に合格し、去年の9月から臨時職員として7カ月、今年の4月から正職員として3カ月働いてきました。

## 絆 学生に元気をもらおう毎日です

卒業後も就職先が決まらず、途方に暮れていた去年の6月、キャリア開発センターの馬場さんに宮城大学事務職員の採用試験があることを聞き、受験を決意しました。運よく試験に合格し、去年の9月から臨時職員として7カ月、今年の4月から正職員として3カ月働いてきました。

在校生、卒業生、教職員など、さまざまな立場で宮城大学に関わっている方から寄せられた思いでつなぐ「絆」。7回目の今回は、この4月から大学事務部の職員となった萩野俊輔さん(事業計画学科11期生)です。社会人として母校に戻った萩野さんの目に、大学はどのように映ったのでしょうか。

で、学生のニーズに十分に応えられているとは言えないかもしれませんが、学生のために何かできるのかというのを考えるのが、学生の活動を精一杯サポートしていきたいと思っています。

# H24MYU キャンパスカレンダー

4月	
1日(日)	春季休業(~7日)
4日(水)	入学式
9日(月)	前期授業開始
5月	
1日(火)	開学記念日(休業日)
20日(日)	オープンキャンパス(大和)
27日(日)	オープンキャンパス(太白)
6月	
4日(月)	認定看護師スクール入学式
9日(土)	後援会、大学共催事業 「食産業学部宮城大学と保護者の集い」
16日(土)	後援会、大学共催事業 「看護・事業構想学部宮城大学と保護者の集い」
30日(土)	入試日(大学院 大和、食産編入 太白)
7月	
22日(日)	オープンキャンパス(大和)
29日(日)	オープンキャンパス(太白)
8月	
7日(火)	夏季休業開始(~9/30)
8日(水)	アカデミックインターンシップ(~10日)
11日(土)	入試日(大学院 太白)
23日(木)	入試日(AO大和)
9月	
14日(金)	入試日(看護編入 大和)
25日(火)	入試日(AO 大和)
27日(木)	入試日(大学院 大和)
10月	
1日(月)	後期授業開始
7日(日)	大学祭(~8日 大和) 後援会主催事業 「生島ヒロシ氏講演会」
8日(月)	ミニオープンキャンパス(大和)
13日(土)	大学祭(~14日 太白)
14日(日)	ミニオープンキャンパス(太白)
18日(木)	入試日(AO大和)
11月	
22日(木)	入試日(特別選抜 大和・太白)
12月	
14日(金)	認定看護師スクール修了式
15日(土)	入試日(特別選抜 大和・太白)
25日(火)	冬季休業開始(~1/6)

H25年1月	
19日(土)	センター試験(~20日 大和)
2月	
4日(月)	後期試験(~8日)
9日(土)	入試日(大学院 大和・太白)
25日(月)	入試日(一般選抜前期 大和・太白)
3月	
12日(火)	入試日(一般選抜後期 大和・太白)
19日(火)	卒業式・学位授与式

## 学生の要望を受け入れ、 活気ある大学に



私は会長に就任するにあたって2つの抱負を掲げたいと思います。

一つは、宮城大学をさらに活気ある大学にすることです。それには学生が笑顔で元気でなければなりません。そのために、あいさつ運動を行いたいと思います。あいさつをするとは自然と笑顔になります。その原点を今一度見直し、学生一人一人が意識を持って、誰にでも明るく笑顔で元気よくあいさつできる学校づくりを目指します。

もう一つは、学生の要望を常に受け入れられる執行部の体制を作ることです。執行部の役割は、学生のみなさんが学生生活を楽しんで過ごせる環境作りをする「縁の下力持ち」的存在と考えています。充実したキャンパスライフを自分たちの手で描きたいと思います。

これから執行部代表として、学生会が学生のみなさんにとって、より身近な存在となれるよう、仲間と共に全力で頑張っていくしますので、応援よろしくお願ひします。

(大和キャンパス学生会会長)

デザイン情報学科2年 杉本健二

## 学生会執行部新体制スタート 代表の杉本くん・木戸さんが抱負

## 宮城大生の笑顔のために…



太白キャンパス学生会会長に就任した木戸です。

学生会は現在、14人で活動しています。今年の学生総会を機に、先輩方から引き継ぎましたが、正直なところ不安も多々あります。そのため、今はまだ、先輩方に頼るところもありますが、今年新たに1年生6人が加わったことで、学生会の力となってくれると思っています。

今年の夏は大和との交流会を企画しており、私たちの経験上、初めての試みです。うまく企画や運営ができるか心配とプレッシャーもありますが、成功できるように学生会全員で協力し合いながら頑張っていこうと思います。

私たちは「学生会」、学生のための会です。イベントや活動を通して、学生方の笑顔や楽しんでいる姿を見られることが、私たちが活動している一番のやりがいだと感じています。

宮城大生の笑顔のために、一生懸命イベント等の企画をしていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

(太白キャンパス学生会会長)

ファームビジネス学科2年 木戸晴生

## 平成24年度主催事業講演会 講師に生島ヒロシ氏

10月7日(日)大和キャンパスにおいて大学祭と併催で生島ヒロシ氏を招き、講演会を開催します。

生島氏は宮城県気仙沼市の出身。テレビ局のアナウンサーを経てフリーになり、現在はキャスター業、司会、講演、セミナーなどで幅広く活躍しています。

昨年の3月11日は仙台での講演の最中、震災に一。どんなことを教訓として感じられたのでしょうか。演題は「もしもに備えて一心と体と財布の健康一」です。

詳細につきましては改めてご案内致します。ご家族お揃いでぜひご来場ください。



## 定期健診で上手に

### 健康チェック

こんにちは。保健指導員の山岸寿子です。

4月に毎年恒例の定期健康診断を実施しました。昨年からは視力・聴力のほか、学年によっては貧血検査（採血）と心電図が追加され、より一層健康の保持・増進や病気の早期発見に役に立つようになりました。両キャンパスでの受診率は97.3%（学部生）でした。健診結果は、6月上旬に郵送しております。

各検査結果で下記に当てはまる学生に対しては、保健室で健康管理などのアドバイスを行っております。健診結果に、「ピンクの用紙」が同封されていた学生は、なるべく早めに保健室へ来室されるよう、ご家庭でもお声掛けをお願い致します。

- ①「BMI」：30以上
- ②「聴力」：所見あり
- ③「血圧」：140以上/90以上
- ④「心電図」：要精密検査・要医療
- ⑤「尿検査」：要再検査
- ⑥「貧血検査」：要再検査
- ⑦「胸部X線」：要精密検査

（大和キャンパス  
保健指導員 山岸寿子）

## 健康を保つための「知識」と「意識」の向上を

こんにちは。太白キャンパス保健指導員の山田です。

保健室は、今年度より学生の心身の健康保持・増進を援助し、健康的なキャンパスライフづくりを目指す健康支援センターの一翼を担う事になりました。

健康を保つためには、「知識」と「意識」が不可欠です。保健室ではその為のサポートをそれぞれの問題に合わせて行っています。

今年度の健康診断で指導が必要な学生の8割強は、血圧と体重に問題がありました。これらは、生活習慣

（食事・睡眠・運動）の見直しで改善が見込まれます。実際の学生生活に合わせた、外食やコンビニでのメニューの選び方や簡単な料理の提案、健康のプチ情報なども提供しています。

自分の健康に関心を持つことによって、今の学生生活だけではなく、5年後・10年後も健康でいられるよう「知識」と「意識」を向上できたら良いですね。その為に、保健室を気軽に利用していただけたらと思います。

（太白キャンパス  
保健指導員 山田まさみ）

※宮城大学健康支援センター  
※今年度設置された、学生の健康診断、健康管理、教育・相談などを所管する組織。

## 公立大学法人宮城大学 主要新任教職員の紹介

【4月1日付け】

- 看護学部 准教授 平木尚美  
助教 出井理恵子
- 食産業学部 准教授 畑中咲子
- 地域連携センター 教授 鈴木康夫
- 事務部 参事兼学務課長 成田美子  
副参事 蜂谷秀明

# 親心 一学生へのメッセージ

看護学部教授 遠藤 芳子

大学卒業後、私の時間は〇十年を過ぎてしまいました。大学生だった私と今の大学生の違いは何かと考えた時に、社会的・政治的・経済的なことなど多くのことは、個々の文化でその変化を判断されるとは思いますが、太陽が走り、月が去り、星が行っても、人間として大切なことは変わらないと思うのです。家族や他者を思いやること、人を裏切らないこと、自分をさげすまないこと・・・しかしこれらは、学生の頃は気づかず、この歳月を経た今だからこそ、変わらない大切なことと言えるのだと思います。

学生時代は「よく遊びよく学ぶ」時期ですが、学生の皆さまには、与えられる知識を丸呑みするのではなく、自ら求めて得た

知識こそが知的渴望感を埋めるということを知って欲しい、そして、子どものような全能感を捨て、恐れることなく現実をしっかり身を置き、人生を楽しみつつ、人間として大切なことを探求して欲しいと思っています。



学び舎を巣立つ教え子と

### 地域連携センターより

#### 「サイエンス&カルチャー地域住民セミナー」開催のご案内

### 健康を支える食生活の「安心・安全」

宮城大学地域連携センターでは、地域の皆さまと一緒に食生活の安心・安全について考える地域住民セミナー（有料/全8回）を開催します。講師陣は宮城大食産業学部教員です。講義によっては実習もあります。楽しく、ためになるセミナーに是非ご参加下さい！

■セミナープログラム ※開催時間はいずれも14:00～15:30です。

No.	月日	テーマ	講師
1	8/4(土)	お魚を食べて健康で長生き！	教授 西川正純
2	8/18(土)	発酵は地球を救う～オールドバイオテクノロジーで健康を！	准教授 金内 誠
3	9/1(土)	日本型食生活で元気に	准教授 白川愛子
4	9/15(土)	卵の健康パワー～卵との上手なつきあい方～	准教授 石川伸一
5	9/29(土)	長寿の秘訣は腸内微生物にあり!?～ヨーグルトの健康パワー	助教 木下英樹
6	10/13(土)	環境と食品への放射線問題への対応	教授 矢野蔵和
7	10/27(土)	農産物の放射性セシウム汚染	教授 木村和彦
8	11/10(土)	身近な食材の放射線量の測定	教授 北辻政文

■参加費 1講座1,500円 ※資料・実習費を含みます。

（大学生以下無料、小学生以下の入室は不可）

※参加費用は当日受付にて頂戴いたします。

■開催場所 宮城大学大和キャンパス（講義室は当日掲示板にてご案内します。）

■お申込み・お問い合わせ先

宮城大学地域連携センター地域振興事業部（担当：菊池・山内）

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

TEL 022-377-8319 FAX 022-377-8421 e-mail: jigyobu@myu.ac.jp

http://www.myu.ac.jp/news/ne0101.htm（申込書をダウンロードできます。）

### 編集後記

「黄ニラ揚げかま」をいただきました。蒲鉾の旨味に、ニラの香りと見た目の優しさが加わり、大学のテクノロジーと地元の特産品が合体した逸品でした。「黄ニラ揚げかま」は仙台空港や、宮城大生協で販売が検討されているとのこと。学生の皆さんにはこれからもどんどん活躍の場を外へ広げ、地域貢献にチャレンジしていただきたいと思います。機会がありましたら是非皆さまも、研究の成果を味わってください。皆さまからの広報誌へのご意見、ご感想をお待ちしております。（S・I）